

## News Release

平成30年5月16日  
NITE（ナイト）  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
法人番号 9011005001123

### 鉄道RAMSに対応した製品認証機関の第一号認定 —鉄道インフラの海外展開を促進—

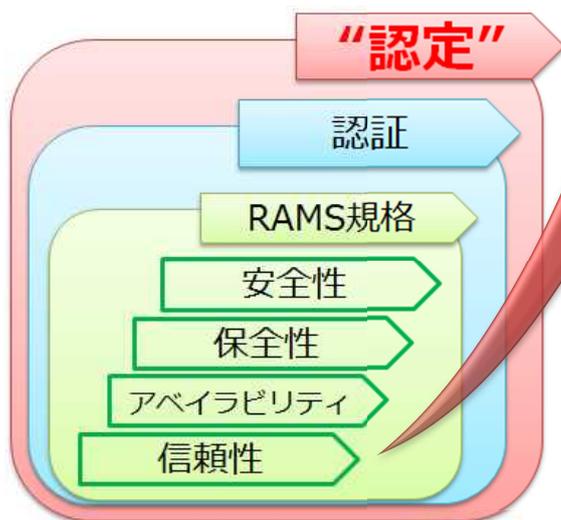
～ 鉄道インフラのIEC規格（RAMS規格）における国際レベルの認証機関が誕生～

NITE（ナイト）[独立行政法人 製品評価技術基盤機構 理事長：辰巳 敬、本所：東京都渋谷区西原] 認定センター（IAJapan）は、平成30年5月16日に、独立行政法人自動車技術総合機構 [理事長：柳川 久治、本部：東京都新宿区、法人番号 1011105001930] 交通安全環境研究所 鉄道認証室（NRCC）を、鉄道インフラの国際規格（RAMS規格\*）の製品認証機関として認定しました。これにより、日本の鉄道インフラが国際水準を満たしていることを低負担で証明することができ、海外の政府調達等で高い競争力を示すことができます。

1. 主要産業・重要分野の海外展開において、インフラシステム輸出戦略が政策として掲げられている中、主要なインフラである鉄道について、世界の増大する需要を取り込むべく、政府を挙げた戦略的な取り組みが進められています。
2. 一方、WTO GPA（政府調達に関する協定）や TPP（環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定）では、国際規格などの公のルールに基づいた技術仕様で政府調達を行うことが定められており、海外では、鉄道インフラの国際規格（RAMS規格）への適合証明が求められるケースがあります。
3. 日本の鉄道インフラは、世界的に高い水準の安全性や安定性を有しますが、RAMS規格への適合性を示すことができる、国際水準を満たした製品認証機関が国内にありませんでした。そのため、事業者が、RAMS規格への適合性を証明するためには、多大なコストと時間がかかるだけでなく、海外展開の遅れにもつながっています。
4. NITE 認定センター（IAJapan）では、鉄道インフラの製品認証機関に対する認定制度を構築し、平成30年5月16日に国内で初めて、独立行政法人自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 鉄道認証室（NRCC）を、RAMS規格への適合性を国際的に証明できる認証機関として認定しました。
5. 認証された鉄道インフラの信頼性が国際的に高まることによって、政府が進める主要産業・重要分野の海外展開が迅速かつ低コストで進められることとなり、海外の政府調達等において高い競争力を確保できることが期待されます。

※ RAMS 規格（IEC 62278：鉄道分野－信頼性，アベイラビリティ，保全性，安全性（RAMS）の仕様と実証）

信頼性（Reliability）、アベイラビリティ（Availability）、保全性（Maintainability）、安全性（Safety）の 4 つの要素と経済性とを照らしあわせて鉄道インフラを評価するための国際規格であり、鉄道システムを構成する信号、車両、運行システムなどの構成部品やシステムを対象として、その構想段階から最終的な廃棄の段階までのライフサイクルがバランス良く適切に構築されているかが評価ポイントとなっている。



海外展開における優位性 **up!**

日本の鉄道システムの競争力 **up!**

国内鉄道認証機関の国際的な信用性 **up!**

図中で使用している写真はあくまでイメージです。

Photo by Hitachi Rail Europe / CC-BY-3.0, Nov 13, 2014

<http://www.mynewsdesk.com/uk/hitachirail-eu/images/unveiling-of-the-first-pre-series-iep-train-in-kasado-japan-368319>

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構

認定センター所長 山本 健一

担当者 清水、吉田

電話：03-3481-1938

FAX：03-3481-1937